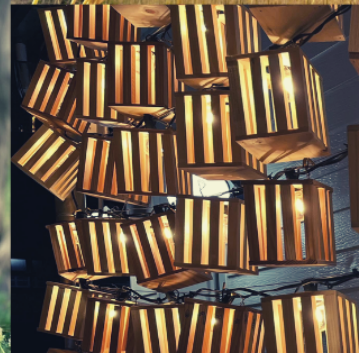




MEMURO PEANU

# ふるさと 通信 NO.46

*Tokachi Memuro*





# 芽室会の動き



## IN TOKYO

東京では・・・

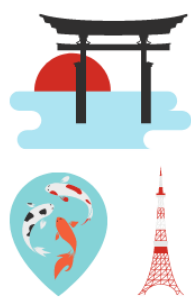
### 秋の交流会



10月25日、東京芽室会恒例の「秋の交流会」が開催されました。あいにくこの日は曇天で気温14度と冬の気候の日でした。昨年までコロナに影響されて建物の中で厳しい制限の中で開催してきたが、今回は幹事である小川喜重子さんの提案で「東京港内屋形船での宴会」を企画・実施しました。時節柄参加者の数が心配されましたが、心配をよそに21名の参加があり、舟一隻貸切りで「お台場墨田川コース」に船を浮かべました。船内はテーブルと椅子をあしらえてゆったりとした席でした。午前11時半出帆、お昼の料理コースで揚げたての天ぷらが次々と運ばれ、みんな美味しくいただきました。品川の乗場から出てお台場のかたわらで停留、船の上にあがって記念写真を撮りました。曇天ながら雨には降られず撮影終了。その後、船中ではカラオケを歌う人が続出。大変盛り上がりしました。2時間コースはまたたくまに過ぎて品川の乗場に戻って、送迎バスで品川駅まで送られて解散でした。「来年はいつ、どこで？」という声も聞かれ、楽しい一日でした。



このページの原稿は、  
東京芽室会  
栄前田会長が  
作成くださいました！



### 東京広尾会



広尾町と芽室町は今から35年前の昭和62年7月に「うみとやまのふれあい宣言」による友好都市提携を結びました。以来多方面にわたる交流を続け今日に至っております。令和3年度はその35周年の節目の年で、記念事業も行われました。この年、東京広尾会から会報が送られてきて、ハタと気が付いたのは地元の両町にちなんで東京でも「ふるさと会」同士で交流が出来ないかと東京広尾会の岡田会長に声を掛けました。最初はメールのやりとりから、そして今年5月に東京・神田で双方の幹部役員が対面で会食をしてご挨拶をしました。この度は東京広尾会が11月13日（日）に第42回目の総会を開催する旨ご案内を頂きました。総会は22名の会員と3名のゲスト、広尾町から村瀬町長はじめ7名が参加、32名が集まりました。この会で印象的だったのは参加者全員がマイクを手にしたの自己紹介でした。会員のみなさんのスピーチが短くも味わいのある話が続き広尾町の景色が浮かんでくるようなひとときでした。帰りにJAひろおからのお土産で大樹町にある雪印工場のチーズを頂きましたが、もしかしてこのチーズは大樹町芽室会の方がお勤めの工場ではないかと、縁を感じました。来年の東京芽室会の総会には岡田会長をお招きし今後の交流の橋渡しをして頂きたいものです。

## IN TAIKI

大樹では・・・

### 大樹芽室会



11月12日、大樹めむろ会総会が令和元年度以来3年ぶりに開催されました。大樹めむろ会は、1982年（昭和58年）に有志によって発足し、現在の会員数は51名。この日の総会は40回目で、芽室町の参加者9名を含む約20名が出席しました。砂田正好（すなだまさゆき）会長は「40回という節目を無事迎えることができた。今後も継続していきたい」と挨拶くださいました。懇親会では、大樹町の黒川豊副町長、芽室町の佐野寿行副町長、芽室町議会の鈴木健充議員が祝辞。JAめむろの森浦英樹理事の発声で乾杯、芽室町観光物産協会の松山博行会長の音頭で万歳三唱を行い、閉会をしました。会食をしながら、自己紹介・ビンゴゲームなどで交流を深めました。特に、自己紹介は、大樹めむろ会員の皆さまがそれぞれのふるさと芽室町のエピソードをお話ください、とても盛り上がりましたし、芽室町一同とても嬉しい気持ちになりました。また、総会の前には、町内施設めぐりということで、令和2年に新工場が完成した「インターステラテクノロジズ」の見学を行わせていただきました。インターステラテクノロジズは、大樹町に本社をおく、液体燃料ロケット開発を行う日本の企業。創設者は堀江貴文氏。なつのロケット団と称して超小型衛星打ち上げ用の小型液体燃料ロケットを開発しています。2019年5月4日、開発したMOMO3号機が日本の民間ロケットとしては初めて宇宙空間に到達した。現在は、人工衛星搭載用ロケット「ZERO（ゼロ）」を開発中とのこと。このような世界で活躍する企業が十勝にあるってすごいことだな、と思いました。

## IN SAPPORO

## IN ASAHIKAWA

札幌・旭川では・・・

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が出来ていないそうです。

新型コロナウイルスに対する配慮が欠かせない日々が続いておりますが、ふるさと会員の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。



芽室町からは、7名が参加！





# めむろ 事情



最近のめむろのいろいろ  
お届けします！

Various circumstances  
in memuro



## イリスフェスタ

7月16日（土）からの3日間、「イリス・フェスタinめむろ」を開催。会場となった花菖蒲園は、約2.1haの広大な敷地内に440種、約1万株もの花菖蒲が咲き誇り、敷地内のライトアップもされ、幻想的で、心癒される光景が広がりました。2016年の台風10号による浸水被害やコロナ禍によりイリス・フェスタの開催が見送られていましたが、今年は6年ぶり30回目の開催となり、苗の即売会のほか、オリジナルグッズの販売が行われました。3日間雨交じりの不安定な天気にも関わらず多くの来場者が訪れ、雨滴る花菖蒲の美しさに魅了されていました。



## スロウ村

本の出版などを手掛けている（株）クナウパブリッシング（帯広市）が主催する「スロウ村の仲間たち」というイベントが、新嵐山スカイパークで開催。会場では道内各地の雑貨店や飲食店など70店舗が出店。イベントは例年5,000人以上が来場する人気イベントで今年は3年ぶり8回目の開催となり、今回会場に新嵐山が選ばれました。私たち魅力創造課は、「メムロ村」としてブースを置き、芽室町のPRを行いました。イベントには、5,000人を超える来場者をお迎えし、新嵐山、芽室町の魅力を多くの人に知ってもらおう良い機会となりました。



「メムロ村」ブースにて  
PRを行う魅力創造課職員



## かちフェス

自然や食、音楽、サウナなどを通して十勝の魅力を体感するイベント「かちフェス」が10月15、16日の両日、芽室公園で初開催。「オール十勝」で19市町村ならではの逸品や人が集結し、芽室町の魅力を多くの人に体感していただいた2日間でした。イベントには1万人以上が来場し、60店舗が出店。管内の特産品やグッズも集結したほか、音楽ステージなどで会場を盛り上げました。また、公園内に設けた特設キャンプ場は、全30区画の予約が埋まりました。100人以上の高校生のボランティアも・・・！



## まちなか再生

これまでの中心市街地活性化は、商工業振興を目的に様々な事業を行ってきましたが、今後はまちなかに人が集い、憩い、多様なチャレンジができる場づくりを行う「まちなか再生」に取り組みます。5月に開催したまちなか再生幕開けフォーラムを皮切りに、6月～10月に全6回開催したまちなか再生ビジョン検討委員会の開催、20年後の芽室町を担う小中高生世代への「20年後の芽室町を描いたイラスト」の募集、一般町民へのアンケートを実施し、多くの方から「理想のまちなかの姿」のご意見をいただきました。12月以降は、いただいた意見をもとに、「まちなか再生ビジョン」の策定と「まちなか再生ビジョンマップ」の制作を行います。



まちなか再生ビジョン検討委員会のようす



## めむろ大収穫祭

11月23日、JAめむろ本部事務所駐車場で、「めむろ大収穫祭」が開催されました。以前は「めむろ収穫感謝祭」という名称で開催されていましたが、飲食ができる感謝祭が3年ぶりということもあり、農商工が連携した新たな形でのイベントとなりました。芽室町は、農林課がじゃがいもの無料配布、魅力創造課は、現在行っている「地域ブランディング」の経過報告、今後の商品開発に向けたアンケート調査を行い、たくさんの方にアンケートのご協力をいただきました。さらに、芽室町と友好都市である岐阜県揖斐川町からも関係者の方々にお越しいたいただき、特産品である柿やお米、お茶などにお販売を行いました。



揖斐川町ブースのようす



## 氷灯夜（ひょうとうや）

今年の2月に開催をした氷灯夜は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となってしまいました。ただ中止にするのはあまりにも残念だ・・・と立ち上がった実行委員会は、「コロナが早く収束するよう願ってみんなで明かりをともそう」と呼び掛けアイスキャンドルを町民に無料配布し、各所で一斉に点灯してもらうという「もうひとつの氷灯夜」を実現させました。氷灯夜は、1991年に始まり、今年の2月で32回を数えました。進化し続ける実行委員会は、来年の2月4日の開催に向け、打ち合わせを重ねています。氷灯夜2023については、次号でお知らせさせていただきますね！



今年の2月に開催した  
「もうひとつの氷灯夜」のようす

To be continued・・・





あなたの  
想いを  
伝えるさへ。

ふるさと納税やってます！





# 友好都市との動き 広尾編



## うみとやまのふれあい交流



昭和62年に「まちづくりにインパクトを」と、同じ十勝に位置しながらも、気候や文化が全く異なる「うみのまち広尾町」と「やまのまち芽室町」の交流がスタートしました。これおまで互いの地域の産業や文化・食などについて理解を深めていけるよう様々な交流をしてきました。

## 広尾町ちょっと情報



### 日本で唯一サンタのまち！

昭和59年にサンタクロースの故郷であるノルウェーから国外初、日本で唯一の「サンタランド」として認定を受けています。

### ししゃもの水揚げ日本一？！

重要港湾「十勝港」では、親潮・黒潮が混ざり合う恵まれた条件のもと、北海道を代表する海の幸が水揚げされています。中でも、全世界で北海道の太平洋沿岸にしか生息しない「ししゃも」の水揚げがトップクラスを誇っています。

## 活動は周年事業のみでしたが・・・

5年に1度の周年事業の年に、各町で予算をつけて事業を行っています。昨年が、その年で35周年でした。両町の食材を使った「うみやま給食」を実施しました。（ふるさと通信NO45で紹介）5年に1度の活動だけでは、さみしい、何か出来ないか、と広尾町とのコラボを企画しました。



さすが  
うみのまち

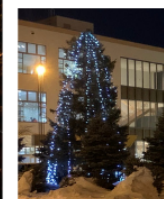
## 広尾町 とのコラボがアツい！



例年駅前のサンタツリーのイルミネーションをしているのですが、さみしいと声があったり、あまり認知をされていない現状であり、イルミネーションのバージョンアップに合わせて、友好都市を知ってもらう機会やそのPRとなるような様々なコラボを実施することとなりました。



例年の  
イルミネーション  
↓↓↓



### ツリーのデザイン変更 とバージョンアップ

1999年に開町100年を記念し広尾町から寄贈された駅前のサンタツリーイルミネーションのデザインを一新しました。ツリーは高さ5メートル以上あるエゾマツの木。毎年この時期に点灯をしていますが、例年とはデザインを変更し、LED電球を追加してより見応えのあるイルミネーションに仕上げました。足を止めてスマートフォンなどで写真を撮影し、思い出を残していた様子が見られ嬉しく思います。



### 広尾まんぷくまつり

12月11日に開催した「広尾まんぷくまつり」に芽室町ブースとして出店しました。今年は、毛がにの不漁が影響し、大釜茹で実施の見通しが立たず、イベントを「広尾まんぷくまつり」に変更して開催となりました。「コーンチーズまん」「ごぼう肉みそまん」「めわろウインナー」「牛サガリ串」を販売し、長蛇の列ができるほど大盛況でした。友好都市をPRする良い機会となりました。



### 「ウッドイルミネーション」 を芽室駅前でも！

広尾町が昨年から取り組んでいる「ウッドイルミネーション」を芽室駅前でも実施することになりました。町民の方々と小学生の児童たちに200個を作成してもらったランタンを、12月9日から芽室駅前に飾っています。点灯当日には、作成を手伝ってくれた子どもたちが、自分で作ったランタンを探しに来てくれ、見つけて喜んでいる様子を見ることができました。



### 「モノ」の交流に つながりたい

広尾町から「ウッドランタン」を借用するので、これを両町の「モノ」の交流に繋がたく、現在企画中です。芽室からは「アイスキャンドル」、広尾からは「ウッドランタン」、両町の冬を代表するイベントの「モノ」の交流をすることにより、これまでとまた違った交流になればうれしいな、と考えております。詳細は、次号で紹介させていただきますね！

## 広尾フェア



12月8日から2月末までの間、広尾町の特産品が芽室町で購入できる「広尾フェア」を芽室町観光物産協会にて開催することとなりました。昨年実施した両町職員のお取り寄せ企画よりも、種類を増やし、協会で販売することで、より多くの方がお買い求めやすくなりました。今後、広尾町でも「芽室フェア」が実現できたら良いな、と思っています。



### 広尾町地域おこし協力隊

農林課 澤村 拓也 氏



澤村さんは、日本一周をし、十勝と広尾町に惚れこみ、地域おこし協力隊として移住をしてきたそうです。林業や木材産業の成長化を進める「サンタランドウッド・プランナー」として活動しており、広尾町の「ウッドイルミネーション」の企画者。

今回、ウッドランタンを芽室町に飾らせていただくことが出来たのも澤村さんのおかげ。昨年からはじめた「ウッドイルミネーション」が好評とお聞きし、「芽室駅前にも飾りたいです！」、と相談させていただいたところ快く「是非お願いします！」とってください。こうして実現することができました。作成ワークショップの講師や設置のアドバイスなどたくさんご協力いただきました。



# 友好都市との動き 揖斐川編



芽室町と揖斐川町つながりは、古く北海道開拓の時代にさかのぼります。十勝には、岐阜県から多くの方が、入植されました。平成12年に「芽室岐阜県人会」が町民有志により設立され、交流をさらに推進するため平成18年5月27日に芽室町と揖斐川町は友好都市提携を結びました。揖斐川町は、十勝の大地を拓いた、私たちの祖先の“ふるさと”のひとつです。

## 揖斐川町 ちょこっと情報

### 🍁 見惚れるほどの紅葉

揖斐川町ではホームページにて紅葉情報を（まだ・色づき・見頃・落葉はじめ・落葉）の5段階でお伝えしています。紅葉シーズンになると、夜のライトアップやもみじまつりが開催されるなど、秋を盛大に感じることができます。谷汲山華厳時や両界山横蔵寺、徳山ダムから見える紅葉は毎年多くの観光客を魅了しています。



### ☕ モーニング文化

モーニングと聞くと頭に浮かぶのは名古屋だと思いますが、揖斐川町でもその文化は根強く、喫茶店でモーニングがないところはやっていけないといわれるほど。特におすすめは「喫茶ヤマト」。昔ながらの喫茶店で、店内は昭和で時間が止まっている感覚に陥ります。時間を忘れてずっと居たくなる。そんな場所です。また年中すいかが提供されるのが名物になっています。コーヒー一杯の注文で提供される食事の量に驚愕です。



### 🐸 かっぱ伝説

揖斐川町にはかっぱ伝説が語り継がれています。

「その昔、人間に悪さをするかっぱたちがいて、ある時そのかっぱの子どもが人間に捕らえられたが、優しい船頭さんが、この先人間には悪さをしないことを約束させ、そのかっぱを助けた。それ以来かっぱは、川でおぼれている人を助けるなど人々に感謝されるようになった。」といわれています。



揖斐川町マスコットキャラクター  
かっぱの河太郎

## 交流の輪が広がっています！

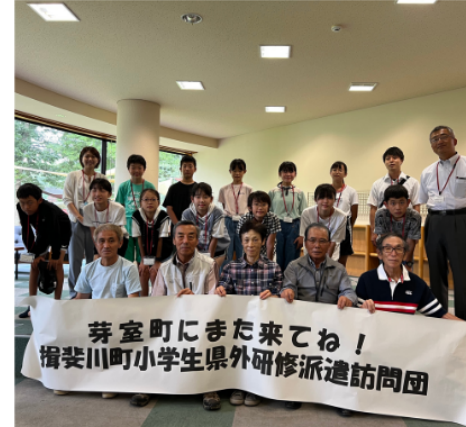


今年度もさまざまな交流を実施し、たくさんのつながりが生まれました。  
その一部をご紹介します



### 特産品お取り寄せ

7月に職員を対象とした両町の特産品のお取り寄せ企画を実施しました！昨年度も好評だったお取り寄せ企画ですが、まだお伝えしたい商品がある！町民へも輪を広げたい！との思いから第2弾を実施。その後職員へアンケート調査をしました。人気の高かった商品を町内事業所での販売につなげていきたいと考えています。



### 小学生交流

8月19日～23日の4泊5日で揖斐川町の小学生が派遣研修として芽室町を訪れました。コロナ禍により3年ぶりとなるリアルな交流に子どもたちは胸を躍らせ、農業体験やばんえい競馬見学、芽室西小学校との交流、ゲートボール体験等を通して北海道の夏を満喫しました。



### ちいさな森のマルシェ

8月21日(日)にめむろプランニングで開催された「ちいさな森のマルシェ」というイベントで揖斐川ブースを出店しました。「五平餅」「水まんじゅう」「わらびもち」など芽室町では見かけない商品が並び、来場者の目を引きました。揖斐川町の商品を多くの人に手に取っていただき、友好都市交流について知っていただく機会となりました。

揖斐川町派遣職員  
農林課畜産振興係

野原 佑斗



令和4年4月から、揖斐川町役場から芽室町役場へ派遣となっている野原佑斗です。役場では主に酪農家を支える仕事を行っています。広大な自然の中でのびのび育つ牛を見ては、北海道ならではの景観だなと感動しています。

僕が感じた芽室の一番の魅力は、何と言っても「食」です。パッチワーク状に広がる豊かな大地、生産者の顔や頑張る姿を思い浮かべると、美味しさだけでなくありがたみも感じられます。

揖斐川町にも、山、川などの豊かな自然や、その自然の中で生産されるお茶、お米などの魅力があります。また、伝統的な文化や建造物が受け継がれる素敵な場所です。皆さんにも僕のふるさと揖斐川町について興味を持っていただけたら嬉しいです。



### いびがわマラソン

11月13日(日)に揖斐川町で開催された「いびがわマラソン2022」で芽室岐阜県人会が芽室町の特産品販売を行いました。じゃがいもや長芋など農産物を販売し、芽室町の食の魅力をお伝えしました。実は、芽室町賞としてマラソン入賞者に芽室町の農産物をお渡ししているんです！両町のみならず他都府県にお住いの方へ芽室町の魅力をお届けしています。



### JAめむろ大感謝祭

11月23日(水・祝)にJAめむろ敷地内で開催された「めむろ大感謝祭2022」に芽室岐阜県人会が揖斐川町ブースを出店しました。当日は、揖斐川町からも関係者の方々にお越しいただき、特産品である柿やお米、お茶などの販売を行いました。特産品を買い求めて長蛇の列ができるほど大盛況でした！多くの町民の方々が揖斐川町の特産品を心待ちにしているのを改めて感じました。





## B★Bの活動記録



今年度「めむろ魅力発信特別アドバイザー」として就任した北海道日本ハムファイターズの球団マスコットB・B。

芽室各地で行ったPR活動をご紹介します。



### 5/15

芽室坂（国道38号線）を全力ダッシュ！シーニックバイウェイ「秀逸な道」の選定区画を駆け抜けてくれました！

### 7/23

札幌ドームにて芽室町のPR！ゲートボールクッキーとPRパンフレットを配布しました！



### 8/4

新嵐山スカイパークにも！様々なアクティビティを体験しながら嵐山の魅力を存分に楽しんでいました。



### 11/17

石黒会のメンバーに民謡を披露してもらいました！



### 11/18

町内の魅力の調査ということで、芽室町の様々な場所を訪問してくれました。写真は芽室遺産の松久園です。

### 8/5

愛菜屋でのスイートコーンまつりにも！至るところで「写真撮ってください」と声をかけられていました！さすがBB！



## 編集後記

ふるさと会担当の餌取です。今年度2回目のふるさと通信。この通信を作成するようになり、町の情勢に対する感覚が高くなった気がしますし、芽室っていいまちだな、と再認識できました。私は、魅力創造課に異動になり、早9か月となりますが、今の課になり、たくさんの方との出会いや経験があり、とてもいい一年になりました。今年も皆さまにとって良い年となりますように。

